

諏訪湖創生ビジョン 数値目標の進捗状況（水質保全計画に係るものを除く）

参考資料 4

項目	実施主体	取組内容	目標値 指標値	H30	R元	R2
5.2.2 水生動植物の管理						
表5.11環境整備の目標	諏訪建設事務所	生物多様性を創出する護岸整備	Cゾーン	Cゾーンにおける動植物調査（水辺整備未実施箇所、魚介類、底生生物、沈水植物他の調査実施中）	Bゾーン、Cゾーンにおける動植物調査	Bゾーン、Cゾーンにおける動植物調査
	諏訪建設事務所	覆砂（浅場造成）	2→5箇所 A,B,E,Hゾーン	関係市町村及び関係機関（漁協、水試）と協議を6回実施	沿岸域の一部（下諏訪町）において覆砂の試行。L=65m、W=30m、V=980m ³	下諏訪町高木沖、岡谷市湖畔公園沖完了
表5.12モニタリングの目標	環境保全研究所	水生動植物の生息調査	5回/年	湖畔植生（抽水植物群落分布）調査と抽水植物群落を利用する鳥類相調査を実施。抽水植物群落分布調査では、現地調査とドローンによる空撮画像及び高解像度衛星画像を併用。	・抽水植物帯の植物調査（C・D・Eゾーン・年3回） ・衛星画像による水草分布域の把握	・抽水植物帯の動植物調査（年5回・6～10月）
	水産試験場諏訪支場	指標水生生物（エビモ）のモニタリング調査	1回/年	ヒシの繁茂抑制と従来から生息している水生植物の再生方法を検討するため、ヒシの繁茂状況と他の水生植物の分布の調査を実施（8/7）	ヒシ及び水生植物の分布 8月（1回）	ヒシ及び水生植物の分布 全湖岸水域（8月 年1回）
	水産試験場諏訪支場	指標水生生物（シジミ）のモニタリング調査	3回/年	淡水シジミ調査の実施	覆砂場所6地点（5月、8月、11月）	・自然繁殖：4地点（5月、8月、11月） ・生簀：4地点（6月、7月、9月、11月）
	諏訪地域振興局環境課	指標水生動物（メガネサナエ）のモニタリング調査	2回/年	平成31年度にモニタリングの学習会及び実習を実施するため、打合せを実施。	モニタリング（宮川3回）	流入河川の成虫調査3回（8月～9月）、諏訪湖湖岸の羽化殻調査3回（7月～8月）
表5.13食害防除・外来種駆除の目標	諏訪湖漁業協同組合 諏訪地域振興局林務課 諏訪農業農村支援センター	カワアイサ・カワウ等魚食性鳥類からの食害防除	90日/年	追払い12月1日から実施、毎日2交代延べ4名魚食性鳥類対策手法の検討（ドローンによる追払い、生分解性テープによるねぐら対策等）	〔漁協〕追払い（12/1～実施）、花火利用。R1実績=91日間。 〔漁協〕魚食性鳥類生態調査、追払い技術の検討 〔林務課〕魚食性鳥類生態調査、ドローンの活用技術の検討	・追払い（年100日）、花火・ドローン等の利用。R2実施中
	諏訪湖漁業協同組合	電気ショック魚による外来種の駆除作業	3t/年	計3.7t（ブラックバス3.4t、ブルーギル0.3t）	4.3t（4～12月実績）	・年3t目標 ・R2実績=3.1t、毎年4t前後で推移、駆除により爆発的増加は抑えられている。
表5.15漁業環境の再生のための目標値	諏訪湖漁業協同組合	ワカサギ種苗放流	10億粒/年	年9億粒	8.3億粒	・年5億粒目標。 ・R2実績=4.8億粒。H28の大量死以後、採卵全般はまだ安定していない、
	諏訪湖漁業協同組合	エビ種苗放流	5kg/年	年2万匹（6月～8月）	9.9kg	・年2kg目標。 ・R2実績=種苗8.5kg、親エビ2.8kg。種苗10kg以上、親エビ3kg前後を継続的に放流実施。
	水産試験場諏訪支場	ワカサギ資源量調査	6回/年	月1回（7月～1月）実施	〔漁協〕試験獲り、月1回（7～12月） 〔水試〕月1回（6～12月）	・月1回（7～12月）
	諏訪湖漁業協同組合 水産試験場諏訪支場	漁場環境調査（水質調査）	1回/年	水質調査月1回（DO、水温）	水産試験場諏訪支場による定期的調査データにより代替。	・湖心5～9月のみ週1～2回、その他月1回 ・他4地点：5～9月のみ週1～2回
	諏訪湖漁業協同組合	ワカサギの生育状況調査	1回/年	月1回	試験獲り、月1回（7～12月）	・月1回